

Color Blaze 48/72

カラーブレイズ 48 / 72

ユーザーガイド
取扱説明書

12NC: 910503700613 (Color Blaze 48)
12NC: 910503700614 (Color Blaze 72)

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

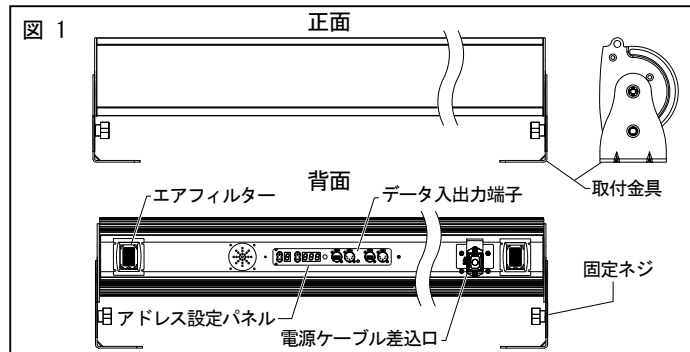
この度は Color Blaze をお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドでは Color Blaze の操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。Color Blaze を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読み下さい。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管して下さい。

箱には以下のものが入っています。

- Color Blaze 1台
- コンセントプラグ付き電源ケーブル (AC100V) 1本
- 3芯-2芯変換アダプター 1個

1. はじめに

◆ 1-1 製品各部の名称



◆ 1-2 設置の手順

- ① コンセントプラグ付き電源ケーブルを本体にセットします。
※ AC200Vでご使用の際は別途ご用意下さい。
- ② 電源を入れます。
- ③ ライトアドレスを設定します。
- ④ コントローラーを接続します。

注意

Color Blaze は、通気のため本体周囲に 8cm 以上の空間を設けて設置してください。

2. 電源の接続

注意

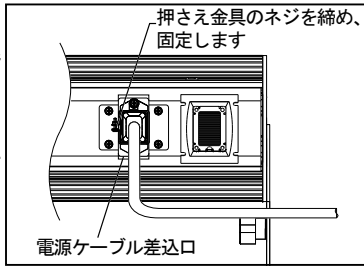
設置および配線は、専門の電気工事業者が行って下さい。

◆ 2-1 コンセントプラグの取り付け

Color Blaze は本体に電源トランスを内蔵したライトです。入力電圧は AC100V から 240V、50-60Hz に自動切替に対応します。電源の接続には、付属のコンセントプラグ付き電源ケーブル (AC100V) を用いてください。AC200Vでご使用の際は別途ご用意ください。

◆ 2-2 電源ケーブルのセット

1. 本体背面の電源ケーブル差込口に、付属の電源ケーブルをセットします。
2. 押さえ金具のネジを締め、ケーブルをしっかりと固定してください。



注意

電源ケーブルのコネクターが、奥までしっかりと差し込まれていること

3. アドレスの設定

重要

アドレス設定を行う前に、電源を入れて下さい。

Color Blaze のライトアドレスには、DMX チャンネルナンバーを使用します。設定は、本体背面のパネルで行います。

◆ 3-1 アドレスの考え方

Color Blaze は、複数の LED 基板 (1 基板あたり 18 個の LED) から構成されており、基板単位でライトアドレスを設定することが可能です。設定は、全ての基板に個別アドレスを割り振る方法と、複数基板ごとにグループ化してアドレスを割り振る方法があります。

アドレスは、左端の基板 (またはグループ) に対する番号を指定すると、そのアドレスを先頭アドレスとして、残りの基板 (またはグループ) にも自動的に連番アドレスが割り振られます。

アドレス設定の際は、事前に以下の点をご検討下さい。

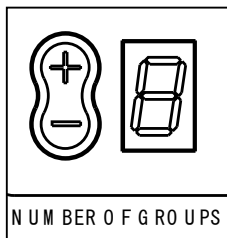
- ・ 1 台に割り当てる、ライトグループ数
- ・ 先頭となるライトグループに対するスタート DMX チャンネルナンバー
- ※ ライトグループあたり、DMX チャンネル 3 つ分 (RGB 各色分) を使用します。

※複数台の Color Blaze を並べて順番に色を流すような演出を行う場合、直前の Color Blaze に割り振ったエンドのアドレスを考慮した上で、次の Color Blaze のスタート DMX チャンネルナンバーを算出する必要があります。

(DMX チャンネルナンバーの算出方法については、◆ 3-2 および < DMX アドレス設定表 > をご参照ください。)

◆ 3-2 ライトグループ数の設定

まず最初に、ライトグループ数を設定をします。ライトグループ数とは、Color Blaze をいくつかのセグメントに分けて光らせるためにグループ化する、基板のグループ数のことです。設定は、“NUMBER OF GROUPS” の + / - ボタンを押して行います。右記をご参照下さい。



ライトグループ数の設定

ColorBlaze 48

1=全ての基板を同一アドレスに設定。(8基板1グループ)

2=2つのグループに分けて、4基板ごとにアドレスを設定。(4基板×2グループ)

4=4つのグループに分けて、2基板ごとにアドレスを設定。(2基板×4グループ)

A=全ての基板に個別アドレスを設定。(8基板それぞれに1アドレス設定)

グループ1 0.01	グループ2 0.04	グループ3 0.07	グループ4 0.10	グループ5 0.13	グループ6 0.16	グループ7 0.19	グループ8 0.22
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

ColorBlaze 72

1=全ての基板を同一アドレスに設定。(12基板1グループ)

2=2つのグループに分けて、6基板ごとにアドレスを設定。(6基板×2グループ)

3=3つのグループに分けて、4基板ごとにアドレスを設定。(4基板×3グループ)

4=4つのグループに分けて、3基板ごとにアドレスを設定。(3基板×4グループ)

6=6つのグループに分けて、2基板ごとにアドレスを設定。(2基板×6グループ)

A=全ての基板に個別アドレスを設定。(12基板それぞれに1アドレス設定)

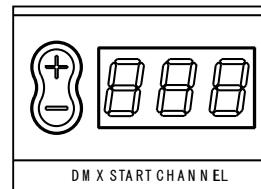
グループ1 0.01	グループ2 0.04	グループ3 0.07	グループ4 0.10	グループ5 0.13	グループ6 0.16	グループ7 0.19	グループ8 0.22	グループ9 0.25	グループ10 0.28	グループ11 0.31	グループ12 0.34
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	----------------

* Color Blaze では1ライトグループあたり3つのDMXチャンネルを使用するため、例えば1つ目のライトグループでは「001」～「003」を使用します。

◆ 3-3 DMX スタートチャンネルの設定

ライトグループ数を決定したら、次に DMX チャンネルを割り振ります。“DMX START CHANNEL” の + / - ボタンを押して、その Color Blaze の 1 つ目の (左端の) ライトグループに対する DMX チャンネルナンバーを指定します。(単一アドレスを設定する場合は、そのスタートチャンネル番号を指定します。) 1 つ目のライトグループに対するスタートチャンネルナンバーを指定すると、残りのライトグループにも自動的に連番のアドレスが割り振られます。

DMX チャンネルナンバーについては、< DMX アドレス設定表 > をご参照ください。



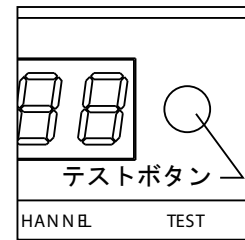
例) ColorBlaze72 で右図の

ような設定をした場合:
下記のようにアドレスが割り振られます。

基本グループ	1グループ目	2グループ目	3グループ目
DMX チャンネル	007 ~ 009	010 ~ 012	013 ~ 015

◆ 3-4 点灯チェック

アドレス設定を終えたら、テストボタンを長押ししてライトの点灯確認をしてください。Color Blaze の制御基盤が正常に作動していれば、左端の LED 基板から順番に、ライトが白くフラッシュしていきます。これで、コントローラーを接続するための準備は完了です。



4. データの接続

DMX コントローラーからのデータは、RJ45 または XLR-5 ケーブルを用いて、Color Blaze 背面の DMX IN ポートに直接つなぎます。複数台の Color Blaze にデータを送り配線する場合は、送信側の DMX OUT ポートと受信側の DMX IN ポート間を RJ45 または XLR-5 ケーブルで接続して下さい。(図2参照)

DMX アドレス設定表

DMX #	LIGHT #	DMX #	LIGHT #	DMX #	LIGHT #	DMX #	LIGHT #	DMX #	LIGHT #
1	1	103	35	205	69	307	103	409	137
4	2	106	36	208	70	310	104	412	138
7	3	109	37	211	71	313	105	415	139
10	4	112	38	214	72	316	106	418	140
13	5	115	39	217	73	319	107	421	141
16	6	118	40	220	74	322	108	424	142
19	7	121	41	223	75	325	109	427	143
22	8	124	42	226	76	328	110	430	144
25	9	127	43	229	77	331	111	433	145
28	10	130	44	232	78	334	112	436	146
31	11	133	45	235	79	337	113	439	147
34	12	136	46	238	80	340	114	442	148
37	13	139	47	241	81	343	115	445	149
40	14	142	48	244	82	346	116	448	150
43	15	145	49	247	83	349	117	451	151
46	16	148	50	250	84	352	118	454	152
49	17	151	51	253	85	355	119	457	153
52	18	154	52	256	86	358	120	460	154
55	19	157	53	259	87	361	121	463	155
58	20	160	54	262	88	364	122	466	156
61	21	163	55	265	89	367	123	469	157
64	22	166	56	268	90	370	124	472	158
67	23	169	57	271	91	373	125	475	159
70	24	172	58	274	92	376	126	478	160
73	25	175	59	277	93	379	127	481	161
76	26	178	60	280	94	382	128	484	162
79	27	181	61	283	95	385	129	487	163
82	28	184	62	286	96	388	130	490	164
85	29	187	63	289	97	391	131	493	165
88	30	190	64	292	98	394	132	496	166
91	31	193	65	295	99	397	133	499	167
94	32	196	66	298	100	400	134	502	168
97	33	199	67	301	101	403	135	505	169
100	34	202	68	304	102	406	136	508	170

図2

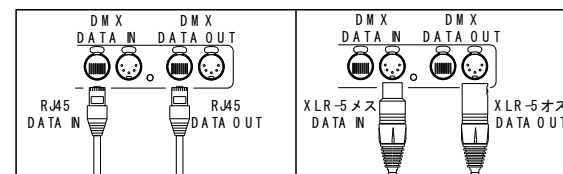
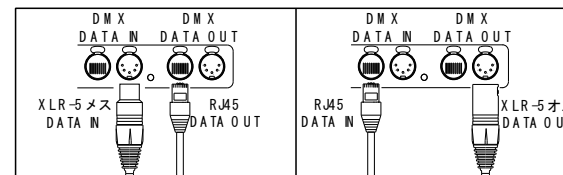


図3



・ XLR-5 および RJ45 ポートは併用することが可能です。(図3参照)

注意

RJ45 データケーブルを使用する場合は、データの合計配線距離が 100 m を超えないようにしてください。

5. 設置について

注意

安全性を十分に確認して、確実に取り付け・設置を行って下さい。

◆ 5-1 灯具の固定

取付金具の底面にある取付用穴を使って、設置面に適切なビスなどで灯具を固定します。安全性を十分に確認して下さい。

◆ 5-2 落下防止ワイヤーの取付について

安全のため、必要に応じて落下防止ワイヤーを取り付けて下さい。落下防止ワイヤーは、耐荷重 270kg 以上、7 芯×7 線のより線のものを使い、ワイヤーは建築物に取り付け固定します。

